

## 在日外国人の子どもへ訪問看護を提供する看護師が経験する困難と対処

Coping with Nursing Difficulties experienced in Providing Home-Visit Nursing to the Home-Care Children of Foreign Residents in Japan

○宮本 圭<sup>1</sup>, 松浦 志野<sup>1</sup>, 伊藤 隆子<sup>1</sup>

Kei Miyamoto, Shino Matsuura, Ryuko Ito

1 順天堂大学医療看護学部

Juntendo University Faculty of Health Care and Nursing

## 【背景と目的】

日本に滞在する外国人の数は増加の一途をたどり(2,933,137人、2019年12月)、在日外国人の医療機関の受診機会が増加している。加えて、中・長期滞在者の増加に伴い、訪問看護サービスを利用する在日外国人も見られ始めた。しかし、在宅医療や訪問看護を利用する在日外国人を対象とした先行研究は限定的であり、さらに子どもを対象とした先行研究は管見する限りない。そこで、本研究では、在日外国人の子どもへ訪問看護を提供した看護師が経験した困難と対処を明らかにし、異文化を背景に持ちながら在宅療養する子どもへの訪問看護に対して示唆を得ることを目的とする。

## 【方法】

訪問看護を始めてから1年以上の経験を持ち、現在あるいは過去3年以内に在日外国人の子どもの訪問看護を経験した看護師を対象に、半構造化面接を行った。面接内容は同意を得て音声録音し逐語録に起こし、在日外国人の子どもへ訪問看護を提供した看護師が経験した困難と対処に焦点を当て質的帰納的分析を行った。本研究は、順天堂大学大学院研究科研究棟倫理委員会の承認を得て実施した(順看倫第2019-6)。

## 【結果】

4名の訪問看護師の語りを分析対象とした。訪問看護師の年齢は30代～50代で、資格は看護師が3名・助産師が1名であった。訪問看護師の経験年数は1.5年～6年であった。訪問看護を受けていた在日外国人の子どもの出身国は、インド・フィリピン・韓国・スリランカで、年齢は10か月～8歳で、乳児から学童期まで年齢に幅があった。子どもの疾患は、脳神経系疾患、心疾患、早産・双胎児であった。

訪問看護師4名は共通して、保険制度を利用した訪問看護の回数・時間を十分、確保できていた。一方、①言語的コミュニケーションの壁、②育児習慣や子育て観の違いで指導が伝わらない、③約束や時間観念の違いでサービス利用に行き違いがある、④家庭内における父親の意思決定権の大きさへの戸惑いや困難を感じ、⑤母親・子どもが日本社会で孤立することを懸念していた。対処として、①に「平明な日本語を用いる・表現を変える、話してもらって理解を確認する、同僚や保健師に指導方法を相談する」、②に「相手の育児習慣を尊重し、すり合わせをする」、③に「サービス利用に関する規則を繰り返し説明する」、④に「決定は父親と行う、男性医師から父親に説明してもらう」、⑤に「地域社会で利用できるサービスを紹介する」などを行っていた。また、国際協力の経験のある助産師Bや、訪問事例cの国で幼少時を過ごした経験をもつ看護師Cは、日本と異なる育児観や育児方法があることを当然と理解し、違いに興味を持ち、楽しみながらニーズを充足できるように対処していた。

表1. 概要

対象者	A	B	C	D
資格	看護師	助産師	看護師	看護師
訪問看護師歴	6年	1.5年	3年	6年
海外経験	なし	あり	あり	なし
訪問事例	a	b	c	d
児の年齢	8歳	10か月	1歳	2歳
出身国	インド	フィリピン	韓国	スリランカ
児の疾患	リー脳症	両側性脳室白質硬化症	早産・双胎児	喉頭軟化症、心室・心房中隔欠損症
主なケア	全身管理、人工呼吸器管理	栄養管理、成長発達支援	家族指導、成長発達支援	家族指導、成長発達支援

## 【考察】

訪問看護師は言語の違いに伴う困難や、育児習慣・子ども観への戸惑いを感じていたが、様々な工夫や多職種との協働により、柔軟に対応できていた。このことは、多様な年齢・疾患・生活環境を対象とする訪問看護師の特性に依拠すると考えられた。

一方、自文化との違いにコンフリクトを生じた例もあり、訪問看護師のコンピテンシー向上には、助産師Bや看護師Cの経験が示すように、異文化理解の視点や知識が必須と考えられた。

## 【結論】

訪問看護師は、言語的コミュニケーションに関する困難や、育児習慣・子育て観の違い、時間や約束の感覚など社会文化に依拠した戸惑いを感じる一方、様々な工夫や多職種との連携を取ることで、柔軟に対処していた。

## 【利益相反】

開示すべきCOIはありません。